

山県市地域福祉推進市民会議だより

# ピンピン★きらり



平成 23 年 11 月 第3号発行

山県市地域福祉推進市民会議

事務局:社会福祉法人山県市社会福祉協議会

〒501-2259 山県市岩佐 1177-1

TEL: (0581)52-3010

FAX: (0581)52-2941

HP: <http://www.y-shakyo.or.jp/>

Eメール [community@y-shakyo.or.jp](mailto:community@y-shakyo.or.jp)

活躍してます!

## 山県市地域福祉推進キャラクター

### つながぎとあわせ

クリアファイル



キャラクターグッズ  
が完成しました!



ピンバッジ

ピンバッジは 100 円で販売しています。

シール



缶バッジ



つながぎとあわせ プラ板アート

プラ板・缶バッジは、手作りできるよ!  
詳しくは、社会福祉協議会まで...

これからも、地域の福祉活動  
を推進していくために活  
躍します!

# 市民会議は「山縣市地域福祉推進計画」の推進役です

## 4年目を迎えました「山縣市地域福祉推進計画」

今年度は、計画を振り返る大事な1年です。計画を策定した5年前と比べて、市民による活動が増えたかどうか、市民の意識に変化があったかどうかを探るため、地域福祉懇談会で市民のみなさんの声を集めました。



富岡地区の様子 (5/28)

### ゴミだしマナー

悪臭が漂ったらイヤ、ごみが散らかったらイヤ…そんな気持ちが手伝ってか、ゴミだしのマナーと管理がとてもうまくいっているようです。

ゴミステーションやその周辺の美化への関心が高まっており、大変素晴らしいことです。

### 交通手段の確保

ハーバスが山間部まで来てくれるので、買い物、通院等に利用しています。もう少し小さいバスがあるともっと奥の家まで行ってもらえるのかなあ！



ふれあいサロン「ひだまりの家」

### ふれあいサロン

私たちの町内にもふれあいサロンが開設されました。仲間と語り、食事をいただき、いろんな情報が聞けて楽しい時を過ごしています。お世話いただく方に感謝しながら、またサロンにでかけます。

### 公民館・空き教室の利用

地区の公民館や空き教室を使っただけの集まりがたくさんあります。近くの人を誘って出かけるようにしています。仲間の絆は強く、なんでも団結できています。



葛原地区の様子 (6/10)



伊自良地区の様子 (5/27)

この他にもたくさんの意見が出されました。

野生動物への対策…野菜作りも健康維持のための楽しみ。でも被害にあうと悔しい。対策には費用がかさむので大変。

車・歩道の整備…車も人もどちらも安全に通行できるよう、危険な場所はなくしてほしい。

降雪時の歩道はとても危険で歩けない。

現在市民会議では、懇談会等でいただいた様々な意見を50項目ある計画のどの項目にあてはまるのかを整理し、市民の意見の変化や地域での取り組みについて検証しています。

# 市民会議はこんな活動もしています

いつでも、いつまでも  
気軽に外出できるようになるには？



地域福祉懇談会でも交通手段の確保・交通安全対策については、多くの意見があり、みなさん関心が高いようです。山県市地域福祉推進計画にも重点活動項目として記載されていますね。

バスを利用して買い物や病院へ出かける方で、減便や路線の廃止により生活が不便になったと感じている方も多いようです。市民会議では、各地域の現状や課題について調査を行うとともに代替の交通手段や地域での助け合い活動についても調査を行っています。

「誰もが住みたい場所に住み続けられる。」山県市がそのようなまちになると良いと思っています。



いつまでも気軽に安心して出かけられるのが理想ですね！



## 福祉施設・NPO団体の製品を紹介します！

市内の福祉施設やNPO団体では、利用者が心をこめてつくったクッキーやバッグなどの製品がたくさんあります。

市民のみなさまにもすばらしい製品の存在を知ってもらいたいと、ピンピンきらりに紹介コーナーを設けることになりました。現在は、次号からの掲載を目指して委員が取材に出向いています。



次号に乞うご期待！

## 地元の歴史を子どもたちに伝えよう！

山県市にも古くから伝えられている歴史的な名所がたくさんあるのはご存じでしょうか。いつまでも後世に残していくためには、子どもたちに語り継いでいくことが必要ですね。

史跡や歴史に残る場所がある自治会や関係団体と協力し市内の良いところを大勢の方に知ってもらえる活動ができないか考えています。



### 歴史コラム「山県市の昔話」

大桑に「四国堀」というお堀が現存するのをご存じでしょうか。四国と呼ばれるのは美濃（岐阜）・尾張（愛知）・伊勢（三重）・越前（福井）の4つの国の武将達が掘ったからとのこと。

自分の国の守りが大切な戦国時代に、なぜこのような遠方の田舎へ穴を掘りに来たのか？信長の父親も掘りに来たのだろうか…？

さあ、あなたも足を運んで見に行こう！

# 自治会で「ふくし」の活動しませんか

各自治会では、夏祭りを兼ねて地域の交流会を行ったり、防災訓練を実施するなどの「ふくし」の活動が多く実施されています。

## ふれあいの集い（夏祭り）

（伊自良南 洞田自治会）

数年前に一度実施した行事を復活させました。子どもからお年寄りまで、楽しく交流ができました。



## 防災マップづくり

（西武芸 小原自治会）



子どもパソコン教室の一環で、消火栓の位置等をマップに記入し、地域の防災について考えました。

## 敬老会

（高富 本町1丁目自治会）

地域の高齢者が集い、日ごろの苦勞をねぎらうとともに今後の活躍を祈念しました。



このような活動には、社会福祉協議会が実施している「小地域等福祉活動助成金」を活用することができます。

### 小地域等活動助成金

自治会の区域を単位とし、10名以上が参加できる活動が対象です。1自治会につき当年度1回まで、上限1万円を助成します。

詳しくは、社会福祉協議会へお問い合わせください。社会福祉協議会 52-3010

# NHKハートフォーラムが開催されました

平成23年3月21日に花咲きホールにてNHKハートフォーラムを市民会議、NHK、山縣市、社会福祉協議会と共同で開催しました。当日は約300名が参加し、地域を元気にするボランティア活動についてパネルディスカッションや講演が行われました。



←山県混声合唱団によるオープニング  
セレモニー

↓つなぎとあわせをお披露目



↑大阪ボランティア協会 早瀬 昇 氏

←大沢登美子氏、柘植克實氏の活動報告